

【記者発表資料】

平成25年12月25日

九州地方整備局

港湾空港部

港湾関係ネットワークの情報セキュリティ対策について

(平成25年7月12日 記者発表関係)

平成25年6月9日(日)、九州地方整備局港湾空港部のサーバから、不正通信により何らかの情報が流出した事案(今年7月12日記者発表)について、調査の結果及び実施した情報セキュリティ対策についてお知らせします。

1. 詳細調査の結果

九州地方整備局港湾空港部では、情報流出の可能性を把握した直後から、外部の専門業者に委託して、所有するサーバや端末等の詳細なデータ分析等実態解明に向けて詳細な調査を実施してきました。

調査の結果、不正通信元は九州地方整備局港湾空港部のメールリレーサーバ、不正通信先はアメリカにあるサーバ、通信量は約320MBであることがわかりましたが、流出した情報の特定及び情報流出の原因の究明には至りませんでした。

2. 情報セキュリティ対策

九州地方整備局港湾空港部から情報が流出した事案を受け、九州地方整備局港湾空港部のネットワークについて、福岡県警察本部及び外部の専門業者等と連携しつつ、再発防止のために通信の監視体制の強化等の情報セキュリティ対策を実施してきました。また、これまでのソフト面の対策に加えて、同様の事案が発生した際の迅速な対処等のため、九州地方整備局長と福岡県警察本部長との間において、サイバー攻撃等に対する共同対処協定を締結しました(別件「九州地方整備局記者発表資料」)。

引き続き、関係機関と連携を図りつつ、港湾関係のネットワークの情報セキュリティ対策の強化に努めて参ります。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 航路施策分析官 岡本 広夫(おかもと ひろお)
課長補佐 的野 賢司(まつの けんじ)

TEL: 092-418-3380 FAX: 092-418-3032

平成25年12月25日
国土交通省
九州地方整備局

サイバー攻撃等に対する共同対処協定の締結について

～福岡県警察本部と九州地方整備局が協定を締結しました～

国土交通省九州地方整備局長と福岡県警察本部長は、年々悪質かつ巧妙化するサイバー攻撃等に対し、迅速かつ的確に対処するため、「サイバー攻撃等に対する共同対処協定」を締結しました。

今回の協定は地方整備局と都道府県警察との協定としては、全国初の試みであり、サイバー攻撃に対し、今まで行ってきたハード面の設備対策に加えて、ソフト面での強化を図るものです。

サイバー攻撃の未然防止対策（セキュリティ強化の為の情報提供、講習会の実施）、攻撃が発生した場合の対処を共同で行っていくことで、サイバー攻撃の発生防止、被害の軽減に対し一層の効果が期待されます。

1. 協定締結日：平成25年12月25日
2. 締結者：福岡県警察本部長 樋口 真人
国土交通省九州地方整備局長 岩崎 泰彦
3. その他：締結の式典等はありません。

【問合せ先】

国土交通省九州地方整備局 電話：092-471-6331（代表）

企画部	情報通信技術課長	大坪 祐紀（内線 3351）
港湾空港部	航路施策分析官	岡本 広夫（内線 62443）